

# 志賀原子力発電所1号機

## 格納容器冷却系冷却器凝縮水流量の指示値低下について

志賀原子力発電所1号機は、定格熱出力一定運転中のところ、5月15日(金)に、格納容器冷却系冷却器凝縮水(以下、「凝縮水」という。)流量計\*1の指示値が徐々に低下していることを確認しました。

この凝縮水が流入する格納容器ペDESTAL外高電導度廃液系サンプ\*2の液位から算出した時間当たりの凝縮水流入量には変化がなく、凝縮水流路または流量計に不具合が生じたものと推定しています。

なお、格納容器内の漏えいの有無については、格納容器ペDESTAL外高電導度廃液系サンプ液位計により直接監視しており、凝縮水流量計が使用できなくても、安全上の問題はありません。

外部への放射能の影響はありません。

### \*1：格納容器冷却系冷却器凝縮水流量計

原子炉格納容器内の湿分は、格納容器冷却系冷却器により凝縮水となる。この凝縮水の流量を測定しており、格納容器内の漏えいの有無を監視する計器の一つ。

### \*2：格納容器ペDESTAL外高電導度廃液系サンプ

原子炉格納容器内で発生する凝縮水や万一の格納容器内での漏えい水を一時的に貯蔵する槽(溜めます)。

